

西淀川区在宅医療・介護連携相談支援室の取組み

個別相談から 見えてきたこと

～これからの連携を考える～

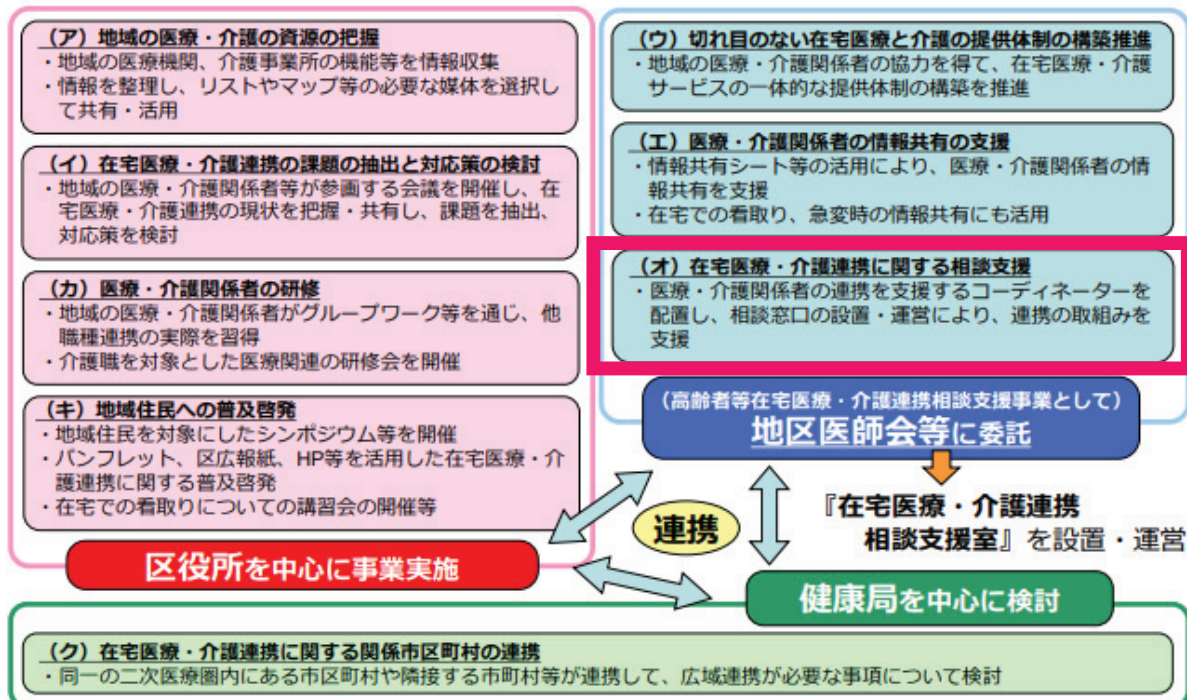
西淀川区在宅医療・介護連携相談支援コーディネーター

大中 湖月

大阪市の取組み体制

在宅医療・介護連携推進事業の概要

◆国が定める8つの事業項目－大阪市の取組み体制



【西淀川区の概況】

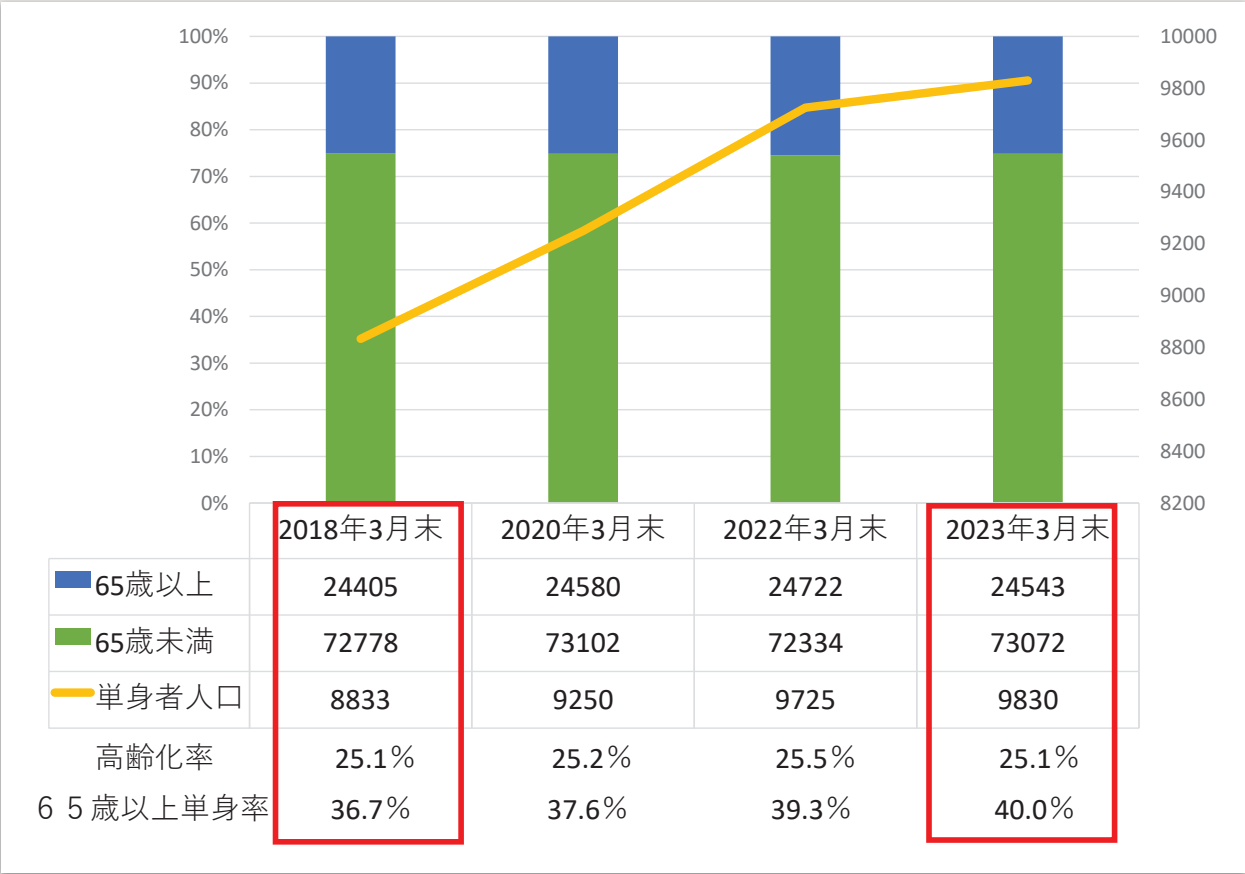
人口：98,001人（2024年6月末日）

高齢化率 24.9% 大阪市住民基本台帳より



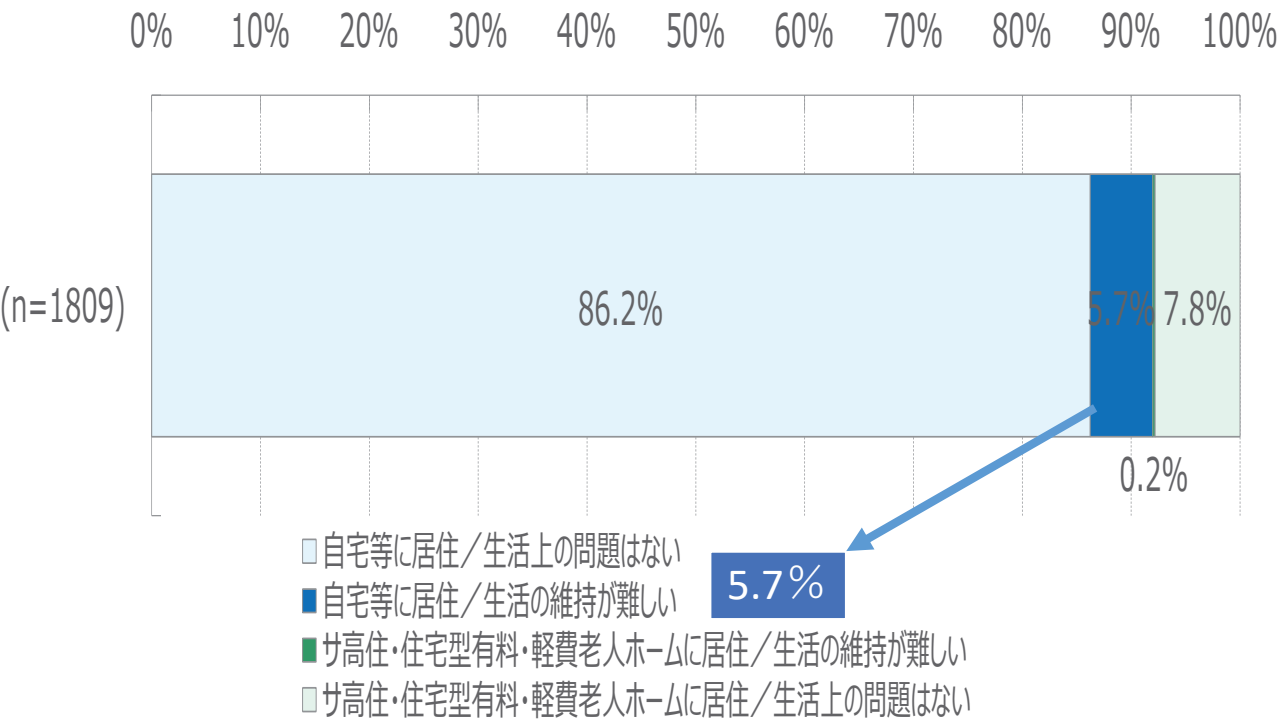
- ★地域包括支援センター 2 箇所
- ★ブランチ 2 箇所
- ▶病院 5 箇所
- ▶在宅支援診療所 21 箇所 ↓
- ▶訪問看護ステーション 19 箇所 ↑
- ▶居宅介護支援事業所 35 箇所 ↑

西淀川区の高齢化率および単身高齢者の経年変化



出所：西淀川区認知症初期集中支援事業関係者会議 資料を参考に作成
(高齢者人口「大阪市住民基本台帳人口」 単身者人口「介護保険システム」)

現在、在宅での生活の維持が難しくなっている利用者



出典：在宅生活改善調査・居所変更実態調査・介護人材実態調査 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング
を用いた西淀川区での調査結果 一部抜粋 5

在宅での生活の維持が難しくなっている利用者の属性

順位 (上位10 類型)	回答実数	粗推計	割合	世帯類型				居所			要介護度	
				独居	夫婦のみ世帯	単身の子どもの同居	その他世帯	自宅等 (持ち家)	自宅等 (借家)	サ高住・住宅型有 料・軽費	介2以下	介3以上
1	15人	22人	13.9%	★					★		★	
2	13人	19人	12.0%		★			★				★
2	13人	19人	12.0%	★				★				★
2	13人	19人	12.0%	★				★			★	
5	10人	14人	9.3%		★			★			★	
6	9人	13人	8.3%				★	★				★
7	6人	9人	5.6%			★		★				★
7	6人	9人	5.6%	★					★			★
9	5人	7人	4.6%		★				★		★	
10	4人	6人	3.7%		★				★			★
上記以外	14人	19人	13.0%									
合計	108人	156人	100.0%									

出典：在宅生活改善調査・居所変更実態調査・介護人材実態調査 | 三菱UFJリサーチ&コンサルティング
を用いた西淀川区での調査結果 一部抜粋 6

個別ケースに関する相談

※ 個別ケースとは

年齢・性別・状況などが特定されている症例の相談

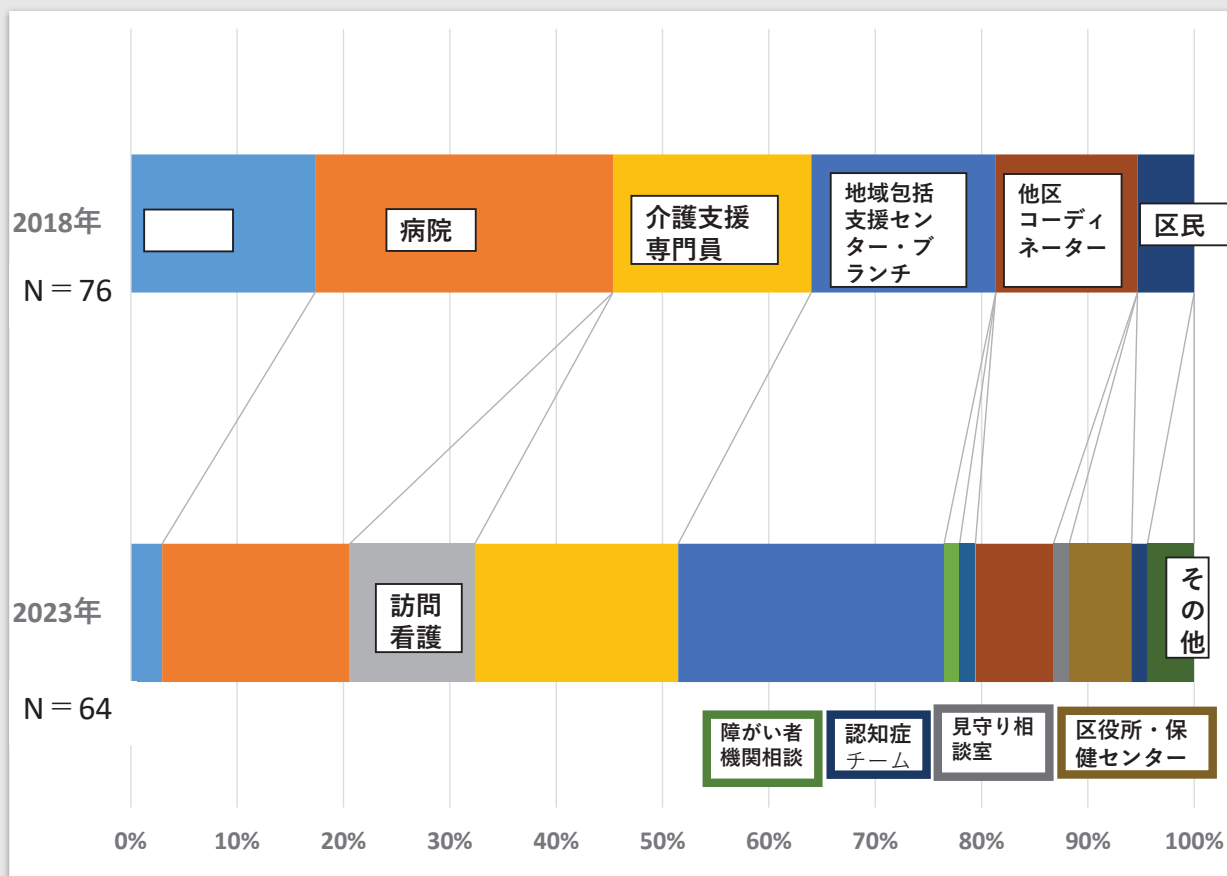
※ 提示する数字は日報月報から抽出

経過途中、様式や計上のルールの見直しあり

確実な数値というより、西淀川区の傾向として把握

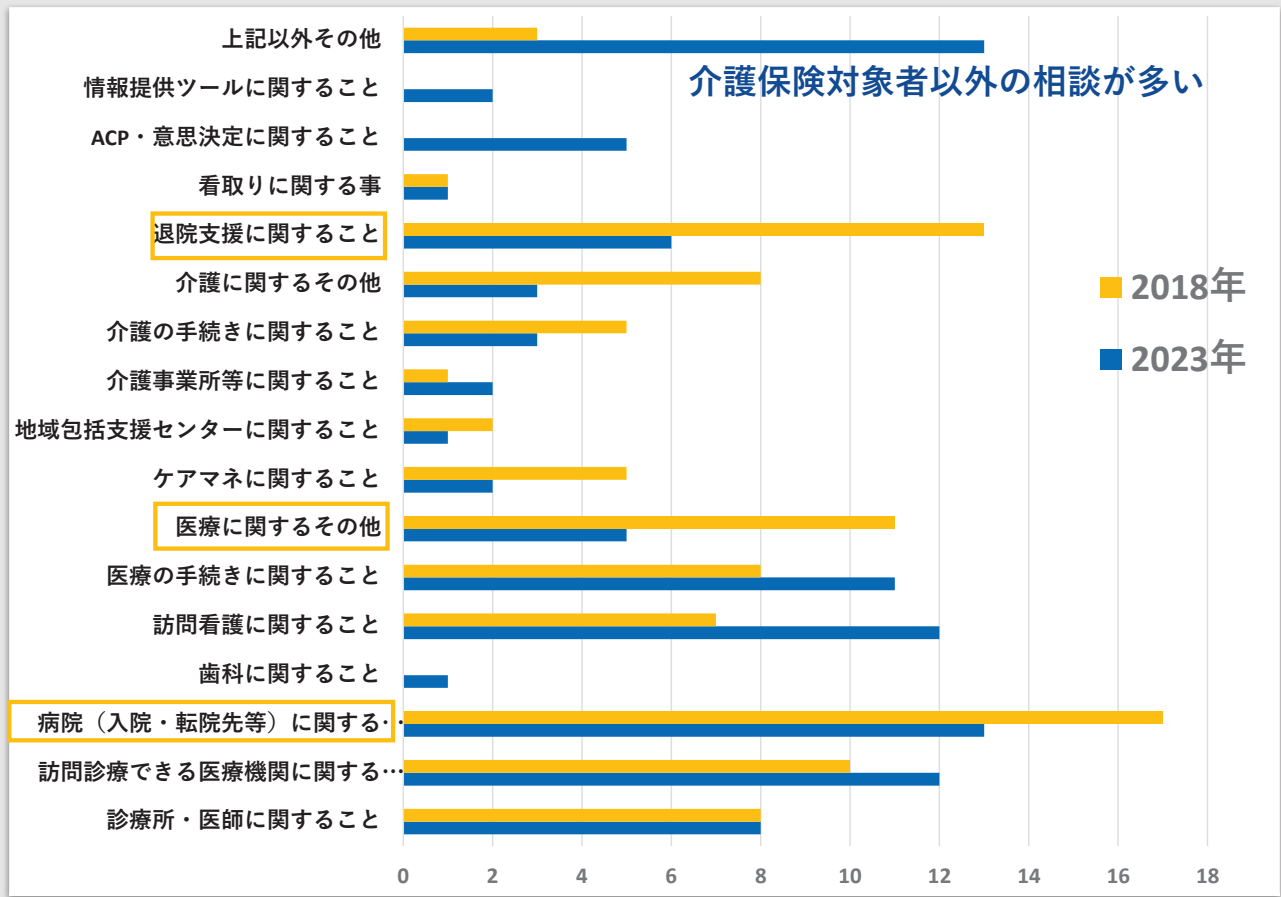
7

個別相談受付 年度比較



(※) 受付者とは、相談元機関及び職種。

相談内容（重複あり） 年度比較



9

2023年度 その他の相談内容について

● 40歳以下のケース

＜がん相談に関する事＞

- ・ターミナル、治療やケアに関する経済的問題に関する事
- ・大阪市若年がん患者在宅療養生活支援事業に関する事
- ・AYA世代の訪問リハビリ、福祉用具貸与に関する事

＜高次機能障害の対応に関する事＞

- ・ST対応しているリハビリに関する事
- ・どのような支援があるのか等

＜発達・知的・精神障害の医療支援に関する事＞

- ・40代の障がい者を介護している母が入院
- ・こどもの発達障害の検査対応の病院検索
- ・アルコール依存の身体合併の入院先検索等

● 難病指定医師や協力病院に関する事

● 単身かつ認知機能低下利用者や虐待疑いケース等で医療介入がない相談

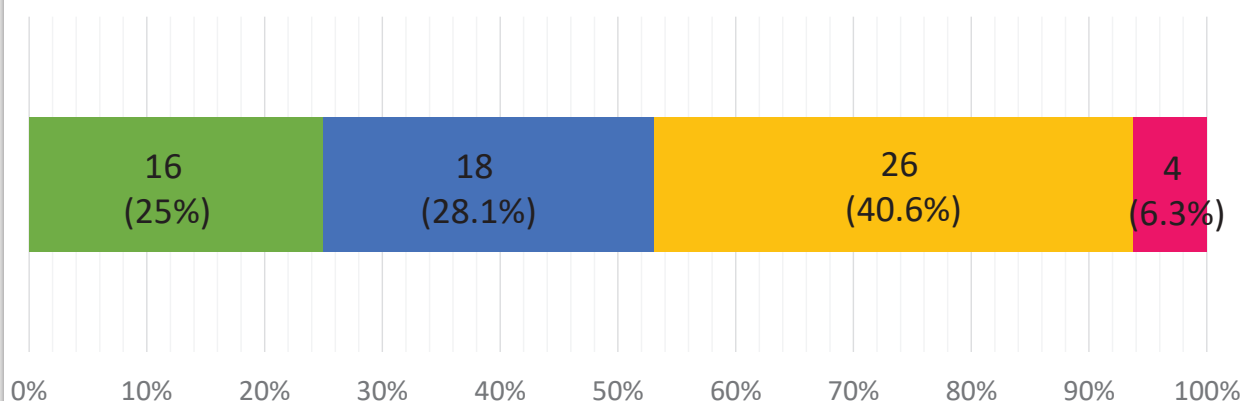
等

10

2023年度 個別相談への対応

N = 64

- 症例に沿った対応と社会資源の提供（継続的なかわりを支援）
- 連携支援（事業所間での連携を調整）
- 情報提供（該当する内容の情報提供）
- 家族の意思決定支援（退院調整についてケアマネからの相談支援）



【まとめ】

- 複雑・多岐な問題に伴い相談元や相談先の変化
 - ➡ 制度の枠を超えた更なるネットワーク、連携・協働が重要拠点コーディネーターとの連携と協働の促進・強化
- 個別相談窓口の役割の再考
 - ➡ 相談者のニーズに合わせた柔軟な対応
- 意思決定のプロセスをつなぐ支援
 - ➡ 専門職と住民参加型ワークショップでの啓発の継続意思決定のプロセスの共有と見える化